

上：棟方志功《阿童女の櫛》(部分) 昭和12年(1937) 下：棟方志功《呼童子の櫛》(部分) 昭和12年(1937)

棟方志功 生誕120年記念

所蔵品による企画展

版画 世 芸 術

棟方志功を中心に

令和6年

2.24 Sat. 土

3.24 Sun. 日

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 毎週月曜日・3月21日(木)

観覧料 / 一般500円(400円)、高校・大学生250円(200円)、中学生以下無料
(常設展含む)

◎ ()内は20人以上の団体。

◎ 一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を持参の方は無料。

◎ 身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライID可)を持参の方(付添人1人を含む)は無料。

一宮市博物館

ICHINOMIYA CITY MUSEUM

〒491-0922 一宮市大和町妙興寺2390

TEL. 0586-46-3215 FAX. 0586-46-3216

<https://www.icm-jp.com/>



棟方志功 生誕120年記念

所蔵品による企画展

版画芸術

棟方志功を中心に

江戸時代の浮世絵や版本挿絵に見られるように、日本の伝統的な木版画は絵師・彫師・摺師の分業による商業出版が一般的でした。明治時代になり、西洋の絵画や出版文化が流入すると、新しい芸術としての「版画」が目指されるようになります。やがて、大正7年(1918)6月には、日本創作版画協会が結成され、いわゆる創作版画運動が始まります。創作版画とは、それまでの複製技術としての版画とは一線を画し、作者自らがすべての工程を担う「自画・自刻・自摺」を掲げるものでした。一方、相前後して、あくまで分業による浮世絵的伝統の木版画に新時代の表現を取り込んだ新版画運動も起こりました。

この展覧会では、当館所蔵品の中から、民芸運動の創始者たちに見出され、創作版画の潮流の中から世界に羽ばたいた版画家、棟方志功(1903~1975)の作品を中心に紹介します。また、志功とともに国会会で活躍した徳力富吉郎(1902~2000)、新版画の分野で活躍した名取春仙(1886~1960)、さらに一宮市出身の岩田覚太郎(1902~1999)、堀尾一郎(1945~)など、多彩な版画芸術の世界を紹介します。



一宮市博物館

ICHINOMIYA CITY MUSEUM

〒491-0922 一宮市大和町妙興寺2390
TEL. 0586-46-3215 FAX. 0586-46-3216

各種SNS更新しています!



<https://www.icm-jp.com/>



・名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車南口より徒歩約7分
・ニコニコふれあいバス「博物館西」下車徒歩約5分

関連イベント

講演会「大和し美しー版画家棟方志功の原点ー」

令和6年 3月9日(土) 午後1時30分~3時(午後1時開場)

※当日は、午後1時から講演会終了まで、1階常設展示室映像コーナーの映像はご覧になれません。

【対象】どなたでも(当日の観覧券が必要)

【定員】50名(当日正午より整理券配付、整理券は1人につき1枚まで)

【資料代】400円(観覧料は含みません)



講師 石井 頼子さん(棟方志功研究家)

1956年、棟方志功の長女・けようの長女として東京都に生まれる。棟方と生活を共にし、その制作風景に接しながら育つ。慶應義塾大学文学部を卒業後、2011年の閉館まで棟方版画美術館に学芸員として勤務。現在は展覧会監修や執筆活動、講演などを通じ、知られざる棟方の紹介に努めている。2018年より南砺市立福光美術館特別専門員として棟方志功関連事業の後見と資料のアーカイブ化を担当。2020年より日本版画院外部理事。近著『てのひらのなかの神羅万象 棟方志功作品集』(2022年東京美術)、『別冊太陽 棟方志功』(2023年平凡社)など。2023年の「生誕120年棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」に学術協力。

コラージュ版画をつくろう!

令和6年 2月25日(日) ①午前10時~11時30分 ②午後1時30分~3時

【講師】若月陽子さん(一宮美術作家協会会員)

【対象】小学生以上・大人も可(小学生は保護者の付き添いが必要)

【定員】各回10人(抽選)

【材料費】2,000円(観覧料は含みません)

申込み 1月25日(木)午前9時から2月14日(水)午後5時までに博物館のウェブサイトからオンライン申込み。または、はがきに郵便番号・住所・参加者名(ふりがな)・年齢・学年・保護者名・電話番号・参加希望回(第2希望まで)を記入し「コラージュ版画をつくろう!」と明記の上、郵送(2月14日必着)。

博物館ウェブ



学芸員による展示解説

令和6年 2月24日(土)・3月2日(土)
各回午前10時から30分程度

【対象】どなたでも
(当日の観覧券が必要)

【申込み】不要

たいけんの森 わくわく体験「五色刷り版画に挑戦」

令和6年 2月3日(土)~3月31日(日)の土日祝
午前9時30分~正午・午後1時~4時30分

【対象】どなたでも
【参加費】100円(中学生以下無料)

【申込み】不要



- 1 徳力富吉郎(津島祭)
- 2 名取春仙『一宮名勝図絵』より「第一景 真清田神社」昭和8年(1933)
- 3 岩田覚太郎(ざる)昭和56年(1981)
- 4 堀尾一郎『尾張野の民具』より「正直 すりばち」昭和56年(1981)

同時開催

特集展示「尾張の洋画 小島俊男と芸術大学の画家たち」

令和6年 2月27日(火)~4月14日(日)